

当社はパリ協定に賛同し、1.5°Cの世界を実現するために、
2040年カーボンニュートラルに向けた活動を行っています

気候変動に対する方針

当社は、気候変動問題を経営の重要課題の一つとして捉え、事業活動を通じた環境負荷の低減と、持続可能な社会の実現に貢献します

1. 中期目標1

2025年迄に自社施設の一部*1及びデータセンターのカーボン・ニュートラル化*2の実現と、全社の温室効果ガス*3排出量を2019年対比で30%削減*4することを目標とします

2. 中期目標2

2030年迄に温室効果ガス排出量を2019年対比で50%削減することを目標とします

3. 長期目標

2040年迄に全社のカーボン・ニュートラル化(ネット・ゼロ)を実現します

4. GHGプロトコル*5 スコープ3に分類される温室効果ガス削減

スコープ1及び2と同等以上の削減を目標とします

5. 責任者の配置

本方針に責任を持つ担当取締役を明確に定め、実践を担保するための取締役会による監督を行います

2022年4月1日制定
株式会社ベルシステム24ホールディングス
気候変動担当取締役 常務執行役員
辻 豊久

*1 神戸センター（兵庫県三田市）と松江センター（島根県松江市）

*2 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること

*3 熱（赤外線）を吸収する性質をもつ大気中存在する様々なガス。当社では二酸化炭素（CO₂）以外の6つのガス等については排出していません。
当社から排出がないガス（ゼロ排出）：ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF₆）、メタン（CH₄）、亜酸化窒素（N₂O）、三フッ化窒素（NF₃）他

*4 エネルギーの消費量削減/再生エネルギー利用/転換等による削減とオフセット

*5 GHGプロトコル：温室効果ガス排出量算定の国際的な基準

参加イニシアティブ



TCFDは、G20の要請を受け、金融安定理事会(FSB)により気候関連の情報開示および金融機関の対応をどのように行うかを検討するため設立されました。2017年6月に最終報告書を公表し、企業等に対して気候変動関連リスクおよび機会に関する項目について開示することを推奨しています。当社は、2022年3月に賛同いたしました。



SBTiは、パリ協定が定める目標に科学的に整合する温室効果ガスの排出削減目標「Science Based Targets (SBT)」を認定する国際的イニシアティブであり、世界自然保護基金(WWF)、CDP、世界資源研究所(WRI)、国連グローバル・コンパクトの4団体が共同で設立しました。「地球の平均気温上昇を産業革命前と比べ、1.5°Cに抑える」という目標に向けて、科学的根拠に基づいた削減目標を企業に働きかけています。当社は、2023年12月に認定を取得しました。

